



I 第9週の発生動向 (2019/2/25~2019/3/3)

1. インフルエンザについては、東地方+青森市保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、むつ保健所管内で**警報**が継続しています。上十三保健所管内で**警報**が、五所川原保健所管内で**注意報**が**解除**されました。
2. 水痘については、五所川原保健所管内で**注意報**が**解除**されました。
3. 伝染性紅斑については、弘前保健所管内で**警報**が発令され、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、上十三保健所管内では定点当たり報告数が7.50となり、警報開始基準値(8)に近づいています。
5. 手足口病については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
6. 突発性発しんについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
7. マイコプラズマ肺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。

II 第9週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	180	13.85	96	6.40	171	11.40	46	6.57	80	8.89	105	17.50	678	10.43	-108	
小児科	RSウイルス感染症	2	0.25	2	0.22			1	0.20	1	0.17			6	0.14	-1	
	咽頭結膜熱	1	0.13	2	0.22	2	0.20	2	0.40					7	0.17	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.88	12	1.33	39	3.90	1	0.20	45	7.50	3	0.75	107	2.55	15	
	感染性胃腸炎	54	6.75	25	2.78	64	6.40	18	3.60	16	2.67	23	5.75	200	4.76	8	
	水痘	4	0.50			4	0.40	2	0.40			2	0.50	12	0.29	-7	
	手足口病					16	1.60			1	0.17	1	0.25	18	0.43	12	
	伝染性紅斑	4	0.50	19	2.11	11	1.10			14	2.33			48	1.14	19	
	突発性発しん	4	0.50	2	0.22	3	0.30	2	0.40	2	0.33		5	1.25	18	0.43	-4
	ヘルパンギーナ																-1
	流行性耳下腺炎	1	0.13	4	0.44	2	0.20	2	0.40	1	0.17			10	0.24	-7	
眼科	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎					2	1.00			2	1.00			4	0.36	2	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎											8	8.00	8	1.33	2	
	無菌性髄膜炎															0	

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

今般、麻しん(はしか)患者が急増しており(図)、今後、麻しん患者の移動などにより、広範な地域において感染が拡大する恐れがあります。

麻しんは、麻しんウイルスに感染して起こる急性の感染症です。麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気を介して人から人に簡単に感染するため、手洗いやマスクだけでは予防できません。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

麻しんを予防する最も有効な方法はワクチン接種です。2回の接種で97~99%以上の人が免疫を得られます。麻しんの予防接種歴を母子健康手帳などで確認し、2回接種していない場合には予防接種を検討してください。1歳児、小学校入学前1年間の幼児は、麻しん風しん混合ワクチンを定期の予防接種として無料で受けることができます。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [麻しんについて\(厚生労働省HP\)](#)

麻しん(五類全数把握対象疾患)

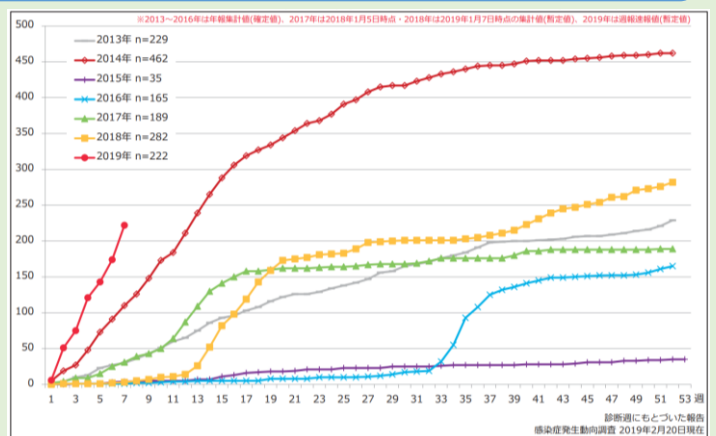


図: 全国における麻しん累積報告数の推移 2013~2019年第7週
出典: 国立感染症研究所HP



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、八戸市2人（2019年計：30人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：むつ1人（2019年計：6人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2019年第2週～第9週）

- ・第9週の患者報告数は678人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは663人【A型：663人、B型：1人、（八戸市保健所管内のA型及びB型陽性1人はA型とB型に重複計上）】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	2	3	4	5	6	7	8	9
東地方+青森市	101	207	448	398	315	199	170	180
弘前	113	174	402	409	251	174	129	96
三戸地方+八戸市	168	367	580	458	365	183	160	171
五所川原	77	127	189	175	135	70	83	46
上十三	263	444	554	391	253	196	110	80
むつ	87	249	254	210	225	140	134	105
合計	809	1568	2427	2041	1544	962	786	678

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	2	3	4	5	6	7	8	9
東地方+青森市	100	206	446	395	312	198	168	180
弘前	112	174	402	409	251	174	129	96
三戸地方+八戸市	163	364	559	425	338	178	155	162
五所川原	77	127	188	173	134	70	83	45
上十三	253	432	526	360	226	183	99	77
むつ	81	243	246	198	213	134	131	103
合計	786	1546	2367	1960	1474	937	765	663

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	2	3	4	5	6	7	8	9
東地方+青森市		1						
弘前	1		1					
三戸地方+八戸市	2	1	1					1
五所川原				1				
上十三				1	1			
むつ								
合計	3	2	2	2	1	0	0	1

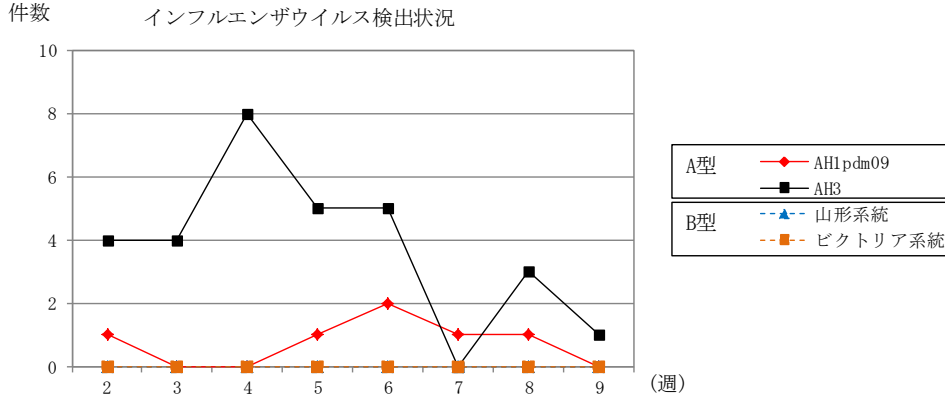
年齢区分別(人)

年齢区分	2	3	4	5	6	7	8	9
～5ヶ月	3	2	15	7	4	6	4	3
～11ヶ月	13	17	21	27	21	10	5	7
1歳	35	40	61	70	74	54	36	25
2歳	26	52	106	74	82	58	57	54
3歳	30	60	91	96	62	49	46	35
4歳	28	68	104	96	65	45	52	27
5歳	38	74	122	74	82	60	53	38
6歳	23	52	100	109	72	42	62	40
7歳	19	70	122	103	81	49	31	19
8歳	17	51	134	108	55	32	25	32
9歳	9	32	109	92	37	32	26	22
10～14歳	74	196	413	322	251	115	86	99
15～19歳	26	89	176	110	90	28	23	23
20～29歳	87	110	109	70	73	47	35	29
30～39歳	76	138	147	149	98	75	41	57
40～49歳	66	144	173	117	91	65	56	39
50～59歳	80	143	124	113	81	56	41	37
60～69歳	68	91	136	121	102	49	38	32
70～79歳	44	57	90	79	60	39	29	30
80歳以上	47	82	77	104	63	51	40	30

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2019							直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計	
		2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週			9週
提出検体数		5	4	8	7	7	2	4	1	21	51
A型	AH1pdm09	1			1	2	1	1		5	17
	AH3	4	4	8	5	5		3	1	14	31
B型	山形系統									0	0
	ビクトリア系統									0	0
合計		5	4	8	6	7	1	4	1	19	48

注）2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第6週～第9週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
6	レジオネラ症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 後天性免疫不全症 候群1人 侵襲性インフルエ ンザ菌感染症1人 百日咳1人					
7	クロイツフェルト・ヤ コフ病1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 梅毒1人 百日咳1人			
8	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 梅毒2人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人			百日咳1人
9						百日咳1人

- ・第8週に青森市保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、梅毒2人の届出、弘前保健所管内で侵襲性肺炎球菌感染症1人の届出がありましたので追加しました。

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第6週～第9週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
6	2		2	1		
7	1				1	
8	1		1			
9	1		2			

- ・第8週に青森市保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅸ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第8週までの累計）

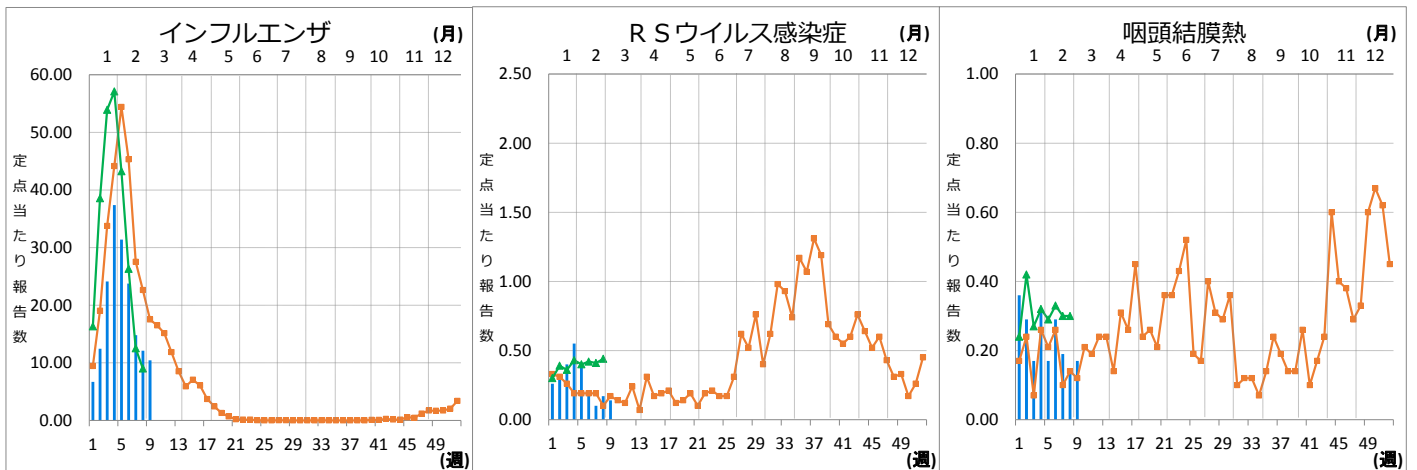
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病	コクシジオイデス症
累積報告数	2733	10	156	5	3	57	84	1	2	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	1	1	40	41	4	5	219	115	46	291
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	11	264	25	161	145	6	114	11	620	59
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	1	834	20	8	10	2332	650	258	4	

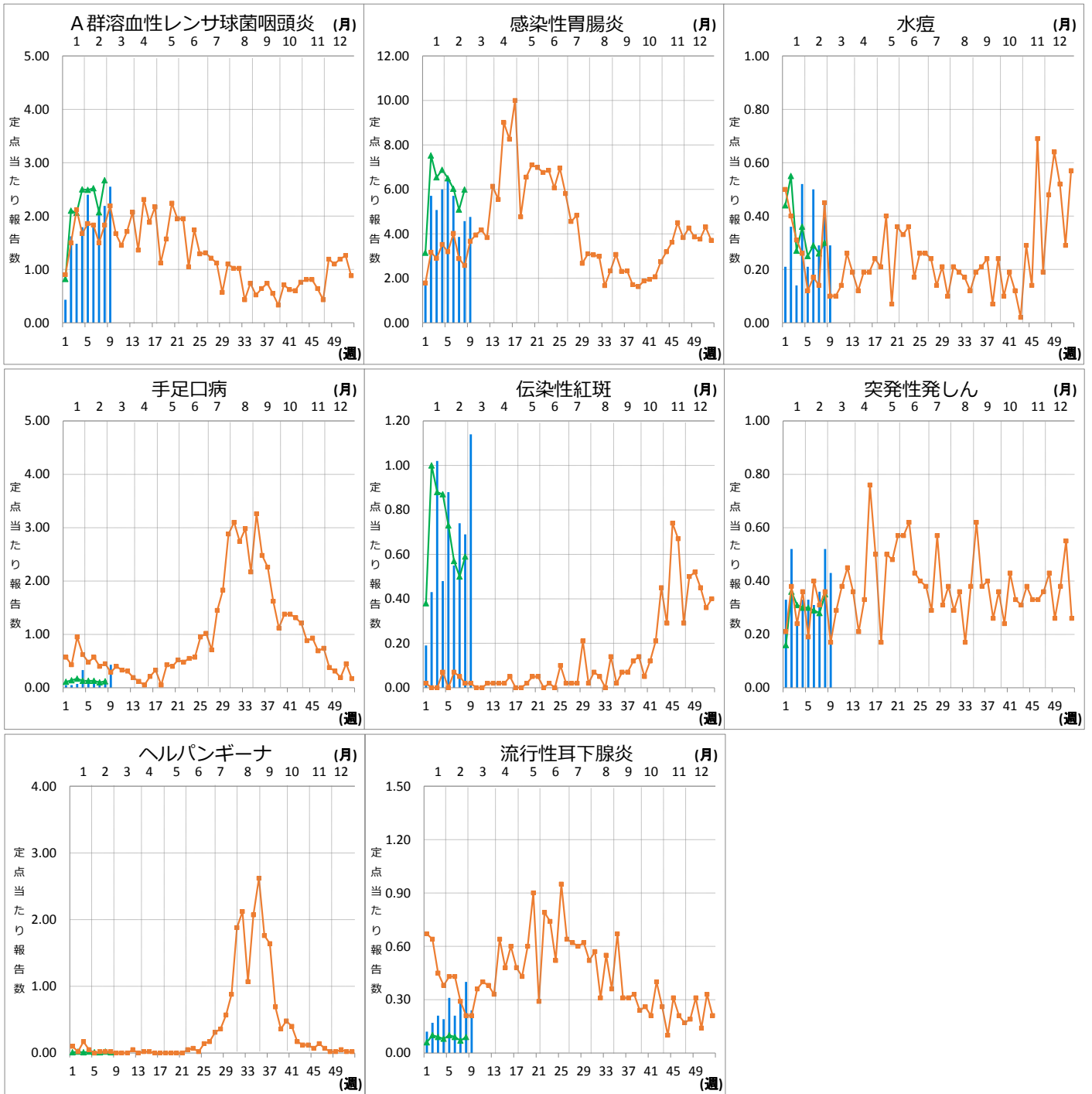
青森県（2019年第1週～第9週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	30	1	1	6	1	1	1	1	1	6
分類	五類	五類								
疾病名	梅毒	百日咳								
累積報告数	3	6								

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第9週、ただし全国は前週）

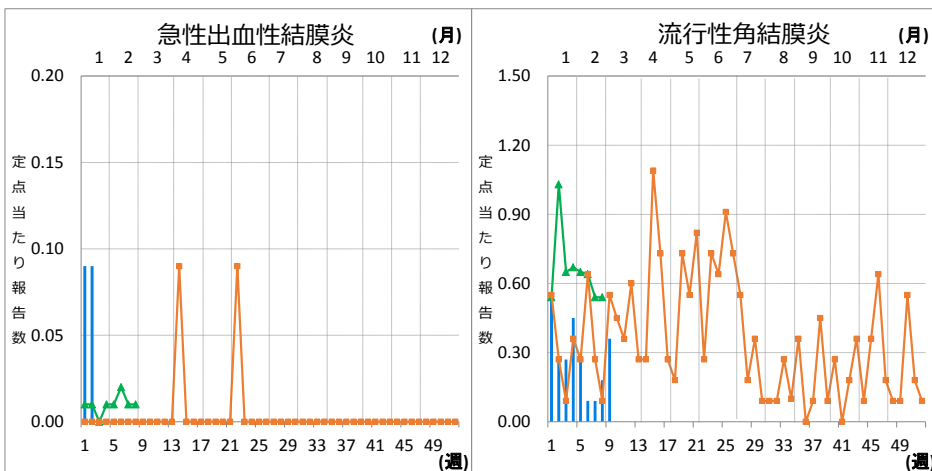
グラフの説明 ■は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





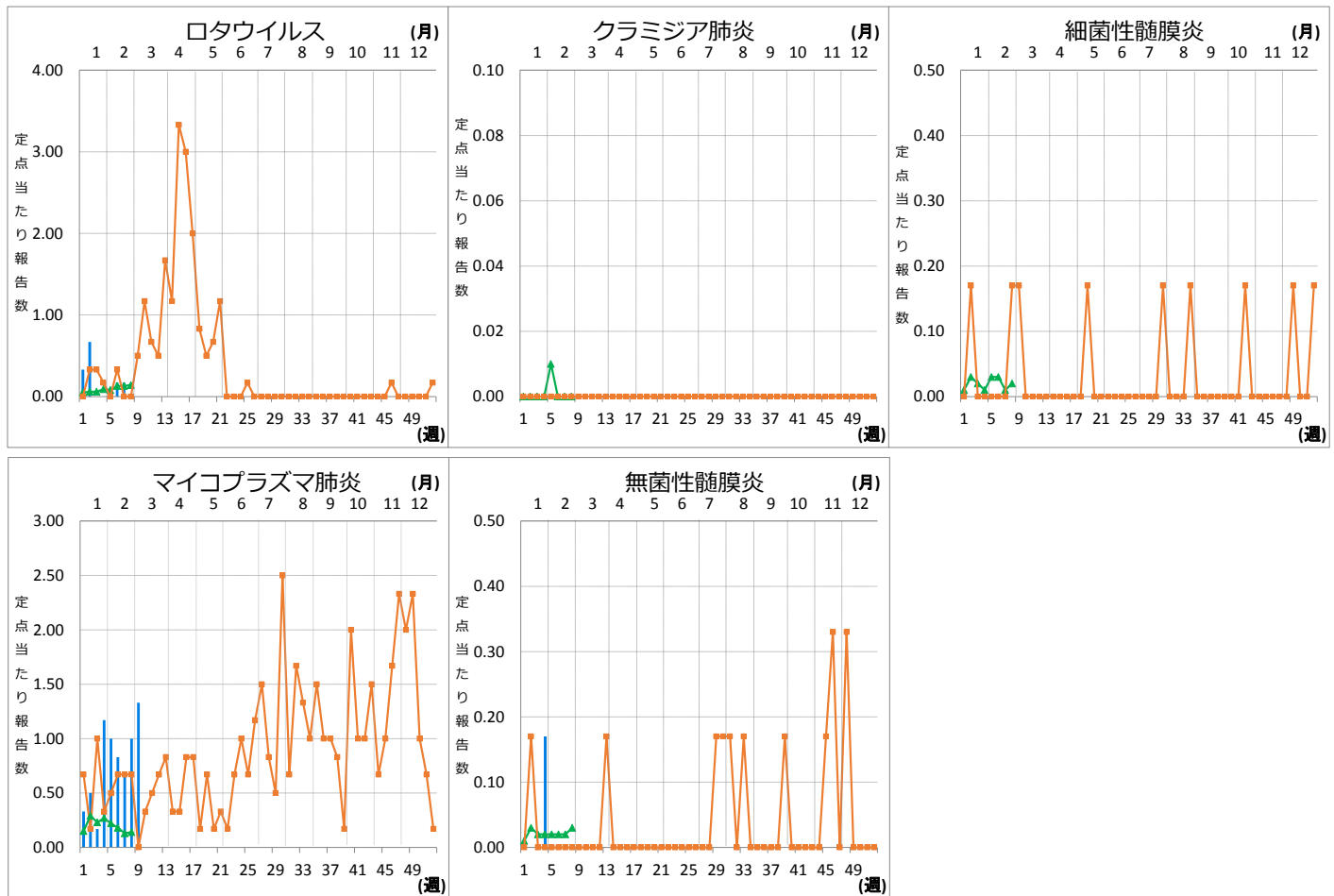
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第9週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第9週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2019年青森県、 は2018年青森県、 は2019年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第9週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第9週	介護・老人福祉関係施設	24	弘前保健所

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	2
	発症者数	29	0	24	53
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	0	6
	発症者数	69	47	0	116
障害関係施設	件数	0	1	0	1
	発症者数	0	48	0	48
その他施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	1	9
	発症者数	98	95	24	217